

# 11月「Schicksalstag zum Zweiten」 アントニア・シュルト

1. 今年の今頃、「運命の日」というタイトルで11月9日におけるドイツの歴史的な事件についてのコラムを書きました。11月が近づいてくると、やはりドイツの歴史をテーマにするものを書く気分になります。11月9日はドイツで歴史的な事件がよく起こった日なので、これから何年経っても、記事を書けそうです。さらに、高校時代から埋没されていた歴史知識をブラッシュアップできます。

ヨーロッパの中心に位置しているドイツの歴史の話をすると、その周辺諸国と互いに影響を及ぼしたり、受けたりするという密接な関係を見落とすことはいけないので、今回のドイツにおける革命もフランスで始まります。

# 11月「Schicksalstag zum Zweiten」 アントニア・シュルト

2. 1848年2月フランスで普通選挙が実施されたことに対して、市民が王政を終わらせたという革命が起こりました。当時のフランスでは産業革命によって、中産階級と賃金労働者が生まれ、格差が広がりました。選挙権を持っていなかった一般市民は、普通選挙権を求める運動を展開しました。選挙権を巡って、産業革命によるブルジョワジーvs.プロレタリアートというこの階級対立は二月革命と呼ばれており、ドイツ・ウィーンに波及し、三月革命の勃発刺激とみなされています。そして、ヨーロッパ全体へ拡大し、1848年革命を引き起こしました。フランスで起きた二月革命によって蜂起されたドイツの民衆が、自由主義内閣や出版の自由を求めてデモを行ったり、領主の城を襲ったりしましたが、当時のドイツ市民階級には革命を遂行する実力がありませんでした。

# 11月「Schicksalstag zum Zweiten」 アントニア・シュルト

3.同年、10月にウィーン、11月ベルリンで反革命が行われ、Robert Blum（ロベルト・ブルム）というザクセンから選出された右派の代表的議員がウィーンに行って、学生を主とする人民運を指揮しましたが、ウィーンの陥落後、軍法会議の判決によって、11月9日（運命の日）に処刑されました。

Robert Blumの死に際の言葉が伝わっています。

「Ich sterbe für die Freiheit」

「私は自由のために死ぬ」

革命自体は失敗に終わりましたが、殉教者として死なれたBlum氏が今でも革命のヒーローとして敬愛されており、当時の革命者の思想がその後の20世紀の革命の出発点となりました。